

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 斐伊川神戸川対策課長 横川 裕 電話番号 0852-22-5937

事務事業の名称	斐伊川放水路事業促進事業		
目的	(1) 対象	斐伊川放水路建設に伴い、移転等のため生活環境に支障が生じることとなった周辺住民の方々	
	(2) 意図	斐伊川放水路建設に伴い、移転等のため生活環境に支障が生じることとなった周辺住民の方々の生活環境を改善するため、道路、集会所、上下水道設備などそれまで未整備であった生活基盤施設の整備を行うもの。併せて、放水路建設を着実に進めていくため、周辺住民の方々の理解をいただくため行う周辺対策事業の側面をも持つ。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市が行う周辺地域の整備（道路、河川、農林土地基盤、集会所・上下水道などの生活環境施設等）について、整備の進捗を早めるため、出雲市の実質負担額の2分の1を補助等する財政支援を行っている。 ・斐伊川放水路事業で発生した残土処理場（グリーンステップ）について、跡地利用が決まるまで草刈などの管理を行う必要がある。そのため、県土地開発公社へ管理委託を行っている。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 斐伊川放水路関連周辺地域整備事業及び蘭の長浜地域整備事業の全体計画に対する進捗割合	目標値		93.6	95.8	97.8	98.8	%
		取組目標値						
	式・定義 斐伊川放水路関連周辺地域整備事業及び蘭の長浜地域整備事業に要した経費/地域整備事業の全体計画事業費	実績値	93.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	445,830	413,229
うち一般財源 (千円)	167,925	88,905

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・斐伊川放水路は3年前の平成25年6月に完成。
 ・しかし、出雲市が行う「放水路関連周辺地域整備事業等」については、道路用地の確保等に手間取り、事業完了が遅れている。現在工期の見直しを行い、完了予定を「周辺地域整備事業」については平成32年度、「蘭の長浜地域整備事業」については平成29年度に設定し、事業を継続して行っている。
 ・グリーンステップ（C谷）残土処理場は、搬入土不足のまま国土交通省の残土処理が終了し、引き続き新内藤川水系の河床浚渫土を残土処理することになった出雲県土整備事務所が平成32年度まで残土処理場整備を続けている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・「周辺整備地域事業」については、平成7年度から事業を開始した半分地区の公園整備（平成13年度～平成24年度まで中断）が平成27年度に完了した。
 ・「蘭の長浜地域整備事業」については、用地交渉が難航しているが、昨年度途中から代替地の要望が出るなど進展があった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ・出雲市が行う「周辺地域整備事業」について、今後の実施が未確定の事業がある。
 ・出雲市が行う「蘭の長浜地域整備事業」について、用地交渉が難航している箇所がある。
 ・周辺地域から、残土処理完了後はグリーンステップ（C谷）の利活用（雇用を創出し、賑わいのある利用）を求められている。

②困っている状況が発生している「原因」
 ・「周辺地域整備事業」については、昭和61年度から全体計画を見直ししながら進めているが、地元の意向確認等ができていない事業がある。
 ・「蘭の長浜地域整備事業」の用地取得に必要な代替地の確保が容易ではない。
 ・グリーンステップには給排水設備がないため、容易に新規出店を検討する企業が見当たらない。

③原因を解消するための「課題」
 ・「周辺地域整備事業」については、事業完了に向けて地元の理解を得ることが必要である。
 ・「蘭の長浜地域整備事業」については、適当な代替地を探しながら粘り強く用地交渉を継続し、理解を得ることが最も大事なことだが、それがかなわない場合は、ルート変更等事業計画の見直しを行う必要がある。
 →そのため、出雲市とは継続的かつ緊密な連絡調整を行っていくことが必要である。
 ・グリーンステップ（C谷）の利活用検討は、島根県だけでは困難である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・斐伊川放水路は、地元住民や地元自治体の理解で完成したことから、周辺整備事業については計画通り完了できるよう、引き続き出雲市や県の関係部局と協議を進める。
 ・グリーンステップ（C谷）については、現在、県事業の公共事業発生残土処理地として平成32年度までは利用するが、その後の利活用について早期に決定するように地元関係自治体からも要請されている。県のホームページでPRを継続し、利活用についての問い合わせ状況等を見ながら、利活用検討委員会立ち上げについて検討する。

9. 追加評価（任意記載）

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。